埼玉県消防学校

消防職員幹部教育

第５４期初級幹部科を実施しました



［期　　間］　令和８年８月１７日（月）から８月２７日（木）まで

９日間（７２時間）

［会　　場］　埼玉県消防学校

［到達目標］　初級幹部として、旺盛な職務遂行意欲にあふれ消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い業務を遂行できる。

［教育対象］　消防司令補及び部隊又は係の長である消防士長の階級にある者

［修 了 者］　２４消防本部（局）４７名

平均年齢４１．７歳

令和８年度消防職員幹部教育

第５４期 初級幹部科　日課表

埼 玉 県 消 防 学 校

月日 曜日	第１時限 8:30～9:20	第２時限 9:20～10:10	第３時限 10:20～11:10	第４時限 11:10～12:00	第５時限 13:00～13:50	第６時限 14:00～14:50	第７時限 14:50～15:40	第８時限 15:50～16:40
8月17日 （月）	行事①	人事業務管理①②③			講話①②		人事業務管理④⑤	
	入校式 校内服務	男女共同参画			組織と人間関係			
	担当教官	埼玉県男女共同参画推進センター			民間（企業・個人等）			
8月18日 （火）	講話③❹		消防時事①②③			人事業務管理⑥⑦⑧		
	初級幹部としての 職責と心構え		予防実務の視点と参考事例			惨事ストレス・ハラスメント防止		
	民間（企業・個人等）		民間（企業・個人等）			民間（企業・個人等）		
8月19日 （水）	人事業務管理⑨⑩		消防時事④⑤		消防財政①②❸			現場指揮①
	情報公開制度／ 個人情報保護制度		災害対策基本法と 地域防災計画		消防行政・財政の現状と課題 ／消防広域化			指揮要領と 留意点
	文書課講師		災害対策課講師		消防課講師			学校教官
8月20日 （木）	消防時事⑥⑦		人事業務管理⑪⑫		消防時事⑧	人事管理業務⑬⑭❺		
	消防団の活性化		女性活躍推進		予防行政の 現状と課題	ペップトーク		
	寄居町役場講師		吉川松伏消防本部講師		消防課講師	民間（企業・個人等）		
8月21日 （金）	消防時事⑨	消防時事⑩❶		訓練礼式①	訓練礼式❷	安全管理①②③		
	救急医療の 現状と課題	危機管理と国民保護		通常点検の 要領等	物品授受の 要領等	災害現場における事故発生時の措置要領 ～鉄道事故等における措置～		
	医療整備課講師	危機管理課講師		学校教官	学校教官	民間（企業・個人等）		
8月24日 （月）	現場指揮②③④⑤				事例研究①②③④			
	現場指揮本部の重要性と効果				災害事例（火災）			
	川口市消防局講師				さいたま市消防局講師			
8月25日 （火）	安全管理④⑤❻			事例研究⑤⑥⑦⑧⑨				
	災害現場における安全管理体制と危機管理 ～消防業務対策～							
	埼玉県央広域消防本部・埼玉県南西部消防局・秩父消防本部・埼玉東部消防組合消防局　講師							
8月26日 （水）	現場指揮⑥⑦⑧⑨⑩					事例研究⑩⑪⑫		
	現場指揮要領（図上訓練）							
	埼玉西部消防局・比企広域消防本部・入間東部地区事務組合消防本部・西入間広域消防組合消防本部・児玉郡市広域消防本部　講師							
8月27日 （木）	現場指揮⑪⑫⑬⑭				事例研究⑬⑭❺			行事❷
	緊急消防援助隊（編成・計画）				災害事例・リーダーシップ			修了式
	さいたま市消防局講師				民間（企業・個人等）			担当教官

組織と人間関係	情報公開制度/個人情報保護制度
	

災害現場における事故発生時の措置要領 ～鉄道事故等における措置～	グループ討議
	

災害現場における安全管理体制と危機管理 ～消防業務対策～	現場指揮要領（図上訓練）
	

比企広域消防本部　消防司令補　水原　淳　　＊総代

修了しての感想



　このたび、埼玉県消防学校第 54 期初級幹部科を修了することができました。また、総代という大役を務めさせていただいたことを、大変光栄に感じています。

　本教育では、初級幹部として必要となる職責と心構えをはじめ、消防行政、安全管理、危機管理、部下育成など、幅広い分野について学びました。講義によって知識を深めるだけでなく、グループ討議や事例研究を通じて、自ら考え、判断し、その考えを相手に伝えることの重要性を改めて認識しました。

　研修生活の中では、指揮統制の難しさを実感する場面もありました。全員で隊列を整えるときや、講義終了時に号令をかけるときなど、一見すると簡単に思える行動であっても、指示する者の意図が正確に伝わり、全体が速やかに行動するためには、明確な指示と共通認識が不可欠です。号令一つ、整列一つにも、判断、決断、伝達、実行という指揮統制の基本が表れていることに気付かされました。

　初級幹部は、上司の意図を正しく理解して部下へ伝えるとともに、現場の状況を把握し、必要な判断を下す立場にあります。知識を身に付けるだけではなく、必要なときに一歩前へ出て、責任を持って行動する姿勢が求められます。また、部下に指示を出すだけでなく、その目的を理解させ、確実な行動へと結び付けることも重要な役割です。本教育を通じて、初級幹部として背負う責任の重さと、そのやりがいを改めて感じました。

　さらに、県内各消防本部から集まった仲間との交流は、非常に貴重な経験となりました。所属や担当業務、これまでの経験は異なりますが、地域住民の生命、身体及び財産を守るという使命は共通しています。互いの考え方や各所属における取組を知ることで、自分だけでは得られなかった多くの気付きがあり、消防人としての視野を広げることができました。ここで築いた仲間とのつながりは、今後の消防人生において大きな財産になると確信しています。

　修了は学びの終わりではなく、実践の始まりです。本教育で得た知識や経験を所属に持ち帰り、職員と共有するとともに、自ら率先して行動し、信頼される幹部を目指して研鑽を重ねてまいります。そして、第 54 期初級幹部科の仲間と共に、埼玉県消防のさらなる発展に貢献していきたいと考えています。

　結びに、熱意をもって御指導いただきました教職員及び講師の皆様、本教育課程に送り出していただいた各所属の皆様、そして共に学び、支え合った第 54 期初級幹部科の仲間に、心から感謝申し上げます。

後輩へのメッセージ

初級幹部科では、講義中の真剣な議論だけでなく、休憩時間の何気ない会話や、仲間と笑い合った時間も心に残ります。最初は緊張していた同期が、日を重ねるごとに打ち解け、一つの期としてまとまっていく過程も、初級幹部科ならではの醍醐味です。

私自身、受講前には想像していなかった多くの刺激を受け、改めて消防という仕事の奥深さと面白さを感じることができました。これから入校する皆さんには、身構え過ぎることなく、限られた教育期間を存分に楽しんでいただきたいと思います。学びだけでなく、思い出と自信を携えて所属へ戻れる、実り多い時間になるはずです。

さいたま市消防局　消防司令補　須川　和哉　＊副総代

修了しての感想



11日間にわたる初級幹部科の全課程を修了し、今、大きな達成感と幹部としての責任の重さを感じています。今回の研修では、組織管理から現場指揮まで幅広い講義が行われました。講師の先生方によってアプローチは多様であり、非常に理解しやすい実践的な講義もあれば、基本に忠実な講義もありましたが、どの時間からも幹部として必要な知識を吸収することができました。中でも「安全管理」に関する講義は、私自身のこれまでの経験を見つめ直す契機となり、今後の幹部活動における揺るぎない主軸として、その重要性を再認識するに至りました。

副総代として47名の研修生を見渡したとき、一番の誇りは「8つの分隊が一つになった、強いまとまり」でした。誰一人として妥協することなく、課題や訓練に真摯に向き合う姿勢は、副総代である私自身に大きな刺激と勇気を与えてくれました。この47名で同期として学べたことは、本当に大きな財産です。

私たちは本日、それぞれの所属へと戻りますが、本研修で培った「安全第一」の主軸と、同期の強い絆を胸に、これからの消防組織を引っ張るリーダーとして、部下の育成と安全な現場管理に全力を尽くしてまいります。

後輩へのメッセージ

初級幹部科研修を通じて得た大きな気づきは、「自身と後輩の成長こそが組織の力になる」ということです。来期入校する皆さん、失敗を恐れず挑戦していきましょう。